JIS K 5663
合成樹脂エマルションシーラー

ラテックスプライマー #1000エコ

環境配慮塗料
建築内装用　低 VOC 水性下塗り塗料

高隠ぺい性

隠ぺい力があり、下地の透けを抑えます。
淡彩調色が可能で、上塗り塗料のトマリを向上します。

仕上がり性

コンクリートやモルタル、プラスターボードおよび木部面で使用でき、素地の吸い込みを抑え上塗りの仕上がりが向上します。

低VOC・低臭

塗料中は意図的にVOCを配合していません。低臭の水性塗料なので塗装後の臭気も少なく、室内でも安心して使用できます。

用途

水性上塗り仕上げ用の下塗り塗料

【適用上塗り塗料】
- ページ 50 エコ
- ページ G F4 3分艶
- 水性スペースエース F4 3分艶
- 水性スペースエース F4 5分艶

＊上塗りに溶剤系塗料の塗装は避けてください。

適用部位・下地

居室内部の壁面および天井面

- コンクリート
- モルタル
- プラスターボード
- 木部面

＊ケイ酸カルシウム板等の著しい吸い込み面への塗装は避けてください。

商品構成

容量：20kg ／石油缶
色相：白、淡彩色

塗装面積　153 ～ 200 ㎡ / 缶

＊下地の形状や状態による使用量の増減により、塗面積が変動することがあります。

神東塗料

塗装仕様例

▶コンクリート、モルタル、プラスターボード面

工程	塗料名（希釈剤）	希釈率（%）	標準使用量（kg/㎡）	塗回数	塗装間隔（20℃）	塗装方法
下地調整	改修……ごみ、ほこり、チョーキング粉、旧塗膜の脆弱部をサンドペーパー等を用いて除去する。 しみ等がある場合は、中性洗剤等を用いて除去し、その後十分に水拭きし、乾燥させて清浄な面とする。 新設……エフロ、レイタンス、汚れ等をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス等を用いて除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	ラテックスプライマー #1000 エコ（水道水）	10~20	0.10~0.13	1	3 時間以上	はけ・ローラー
上塗り -1	ページ 50 エコ（水道水）	5~15	0.10~0.13	1	3 時間以上	はけ・ローラー
上塗り -2	ページ 50 エコ（水道水）	5~15	0.10~0.13	1	――――	はけ・ローラー

▶屋内木部

工程	塗料名（希釈剤）	希釈率（%）	標準使用量（kg/㎡）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
素地調整	しみ、汚れ、油脂等を完全に除去し、サンドペーパー等で素地面を平滑にする。 やにの多い箇所、節はラックスニスで補修塗装する。					
下塗り	ラテックスプライマー #1000 エコ（水道水）	10~20	0.10~0.13	1	3 時間以上	はけ・ローラー
上塗り -1	水性スペースエース F4 各艶（水道水）	10~20	0.10~0.13	1	3 時間以上	はけ・ローラー
上塗り -2	水性スペースエース F4 各艶（水道水）	10~20	0.10~0.13	1	――――	はけ・ローラー

＊仕様中の数値はすべて標準値です。使用量は被塗物の形状や吸い込みの状態によって、増減することがあります。
＊上塗りに鮮やかな冴えた色相（濃色系）などを使用する場合は、下塗り塗料のラテックスプライマー #1000 エコの色相は共色を用いて塗装してください。

注意事項

■施工上の注意
1. 気温および被塗面温度が 5℃以下、湿度 85%RH 以上での塗装を避けてください。乾燥遅延などの不具合が生じやすくなります。
2. 常時結露が発生する場所や、著しい結露が発生する場所での塗装は避けてください。乾燥遅延、塗膜膨れ、はがれ、しみなどの不具合が生じる場合があります。
3. 塗装後に結露が予想される場合は塗装を避けてください。(特に早朝、夕刻の結露には注意してください。)
4. 常時ものが置かれる家具等（テーブル、椅子、ベンチ、棚、カウンターなど）には、色移り、粘着のおそれがあるため塗装をしないでください。
5. コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率 10%以下（ケット科学研究所製 CH-2）または 5%以下（ケット科学研究所製 HI-500 シリーズ）で、アルカリ度は pH10 以下を確認してから塗装してください。
6. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。

■取扱いに関する注意
1. 指定品以外の他品種塗料、および希釈剤との混合は絶対に行わないようにしてください。
2. 塗料の取扱いは、屋外または換気の良い場所で行ってください。
3. 塗料取扱い、および塗装作業の際は、必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など）を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
4. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌して均一な状態にしてください。
5. 小分けするときは、使用するさげ缶はきれいなものを使用し、十分にかき混ぜた塗料を小分けしてください。
6. 塗料開缶は原則として、使用する直前に行ってください。
7. 開缶後や作業中断時など、塗料の入った容器には常時蓋をするよう心がけてください。
8. 塗料取扱い後、塗装作業後は手洗いうがいを十分に行ってください。
9. 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。塗料が固まって落ちにくい場合はラッカーシンナーで洗浄してください。
10. 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開封の塗料缶は、直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

■塗装に関する注意事項
1. シンナー類の混合は絶対に避けてください。
2. 被塗面の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により、使用量、塗装間隔が変動することがあります。
3. 所要上限を超えての希釈は避けてください。仕上がり性に不具合を生じる場合があります。
4. ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑剤を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。
5. 上塗りに黄色、赤系などの彩度の高い色を使用する場合は、隠ぺい性を高めるため、共色 (淡彩) に調色した下塗りを塗装してください
6. 塗装方法により、仕上がり肌が異なるため、若干の色差がでます。はけ塗りとローラー塗りが混在する場合は、はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
7. ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
8. 被塗物の形状や、塗装条件 (膜厚、塗回数、塗装方法、希釈率) の違い、塗り継ぎ箇所などで、色や艶が異なってみえることがあります。事前に試し塗りで確認してください。
9. 本施工を行う際には、面を区切って通しで塗装してください。
10. 補修用に使用する塗料の控えを必ずとっておいてください。
11. 補修塗りは、使用された塗料と同一ロットのものを、同一の塗装方法で実施してください。
12. 塗装中または塗装終了後の乾燥中は、換気を十分に行ってください。

■緊急時の対応
1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布（ウエス）などで拭き取ってください。

■廃棄
使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。（河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。）

■保管
1. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
2. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
3. 子供の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート（ＳＤＳ）をご参照ください。
※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ 本来の用途以外に使用しないでください。
※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング
神東塗料
本　社　〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代)　FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ
北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東　北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952
東　京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静　岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091
北　陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大　阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中　国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821
四　国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
九　州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。

RK0425AT01-01